54-095183 [JP 54095183 A] PUBLISHED: July 27, 1979 (19790727) INVENTOR(s): ODATE MITSUO

APPLICANT(s): MITSUBISHI ELECTRIC CORP [000601] (A Japanese Company or

Corporation), JP (Japan) .: 53-003125 [JP 783125]

FILED: January 13, 1978 (19780113).

INTL CLASS: [2] H01L-025/10

JAPIO CLASS: 42.2 (ELECTRONICS — Solid State Components)

JOURNAL: Section: E, Section No. 141, Vol. 03, No. 117, Pg. 127, September 29, 1979 (19790929)

ABSTRACT

PURPOSE: To reduce the distortion applied to an element when an electrode is brought into contact with the element by pressure, by interposing a powder metallic layer with a particle diameter below 2.mu.m.

CONSTITUTION: A powder layer 7 with approximately 0.5 mm thickness is generated on the capacity bottom face of base electrode 2 and case 3. Element 1 is put on layer 7 so that electrode 13b may be at the top. Insulating ring 5 is inserted to leading-out electrode 4, and plate spring 6 is inserted. After that, the pressure over three times as large as the spring force of plate spring 6 is applied to solidify layer 7; and after the plate spring is fixed by a protrusion, a device is completed by welding and connection. In this structure, since powder layer 7 becomes a pressure buffering materials and the warp of element 1 is not reformed, element 1 is prevented form being affected by the distortion to a Si substrate and cracking. The ther-mal rmal resistance and forward voltage drop are reduced.

(B日本国特許庁(JP)

①特許出頭公開

昭54—95183

半込なな子の一つの王伯と王口囚との危に 2 4 m~

このような目的を延成するためだ、本条列は、

8 (torb, vys/gotorib)>>>

H 454-951830

以下の粒子ほぞくつれ田来会員からなる母来会員 なった氏されては圧伏なするようにしたは近のな 氏療政防半込な政政を免費とするものでもも。ジ

@公開特許公報(A)

庁内整理番号 43公開 昭和54年(1979)7月27日 6741-5F

⊗日本分類 99(s) C 21

概别配号

H 01 L 25/10 €lnt. Cl.

発明の数 1 密査請求 未請求

(全3頁)

祖 < 盟 と TI (I 伊丹市瑞原 4 丁目 1 番地 BES3(1978) 1 A 13B 昭53-3125 大館光雄 6.加压接触形半弹体装置 雷 の田 **(c)**

|1| |KX

外1名 東京都千代田区丸の内二丁目2 电機株式会社北伊丹製作所內 弁理士 码野信一 三菱電機株式会社

リコン嵌へのメナンスが石欠したり、ソリコン放 本条明にこのような点に匹子てなるれたもので、 アから段数でもことができる召用部路が半導体数 が発生していた。仏記半の存ま子の口気作性を改 日ナるためにログリコン仮と気が仮の名。の状件 及することになる。したがつて、このよりに支持 彼をむくした状態での記予等なな子と主口格に圧 コン質の七りれ紅形十ることになるから、逆にク 七の目的とするところは半辺体以子に加わるスト フスを政治な出ることにより中部存品子をクラン り即入の気体から気が放を恐くてることによりソ 気存仮を沿くてるとソリコン仮に対するそりを増 保力を加えてこれらを辺圧研制すると、点記シリ K ! ラック が生じたりてるという問題がもつた。 リコン版のストレスを促化することがてきるが、 以を提供することにもる。

たたもの一気石気を示し改四の一部党団囚しもる。

ばし囚口斗免型から用砂石がメイキードの出い

1、図目を用ってその虫をは超に記れて。

を光ナるグリコン版(II) と、Cのグリコン版 (II)・

3年较子(1)口跌2因斤形十二3斤、PNN。 百台

既し包にせって、(117年30分代十七もり、この半

を保証するモリブデンからなる支持板(12)と、2

リコン版 (11) と支持版 (12) とを以付しているアル

(ロワムーアル(ニワム・グリコン共品的(134)

じェクムからなる口殻(134)とから口服るれてい

る。(2)なが留別出し用の1つの当口もをは成する

と、クリコン召扱(1)のよ母に登む形成るれたアト

不免别心值の目的口中评许不不上王也也们の品 的,只以的な遊姑娘就を假故化下ることがてきる

ペーメロ窓、(31なCのペーメロ路(3)との形容器が ☆付けるれて対止るれる狭よりなるケース、(0万) の記へ-×口径(2)と異なる1つの独口船を存成す

> る母からなる引出し口唇、(5)にトイカ質などの色 なりング、(のなべを知よりなも回いす、(じな意見 れる登末会員出て、この母来会員出行に以予語2 * ロモ有する粉束ファミニウィからなり、夏角氏。 支持板 (12)と引出し以低(10間に介供されて形成な 取し子の仮院母来アッミュウィを水品中で選売す もか久に放んよるエッナングにより位十枚両の位

> > 作質を小る(したり、半辺な状子と玉口盾との値

ロ、中は存成子をシッパングして中国反が110平

Þ

に来かい会員例えば母、会などの会員後を分入し

九り、半将体素子と主国衛閥の氏漿刀を大きくし

たりてることが行さわれている。

少なくとも1つOPN殴合を指する単均体以子 の月生のに王仁氏が七れ代れる田塔なるれた兵命 りる円形位形井沙午収包ドサント、公別井沙存代 子の少なくたく 1 つの王函と王立氏との近代 3 重 以下の粒子強をもつ母来会口からなる俗来会口だ そ介任るせたことを祭囚とする辺圧部放形半öな

日田田宮野野井沿谷田口

1. 完胜日允农

2 年序位永の処理

半込なボアとして、少なくとも1つのPN版台を 折する円段状のクリコン版と、このクリコン版と 品は金条 ロの知识した会式的人だキリンディー・

ところた、日田郡塔が半洋な森崎のサントだ、

るいまげ、ペース日低(2)とケース(3)よりなる智器 仮面にアットニウィ母来を厚み 0.5 mm 程度に受 **てて母米会政治(1)を形成する。 及って、半部存款** −万、引出しな仮(4尺的なリング(5)を移入し、七 の上に回べす(6)を上倒が凹面とたるこうに貸入す る。 たして、この こりな引出しは私(1) 年度記手段 なな子(1)上尺数粒十る。しかる状、寛人灯留用ブ アメだた目 パキ(6)の パキガの 3 街沙上の用力を収 スパ 上記炎 角色の半導体板位の母女 てもが発す 子(1)七位伍(134) が上に、七の支持坂(12) が Fになるようにほど砂米会な私们上に収置する。

ART /

な西北京はハントの兄弟母等にクリョン版の風 **に処理的反が高っためにクリコン扱と気が板位の**

発性も因为るされる、及び合材社の及び設保費の

ざった よるくイメット 存用 たょりション 放が大

及囚にストレスが囚り、七九が井沙存以子の匈奴

ては、井道存は十七田口田(ハースロね) 回り見

な女、これらの野な私氏を小らくする手段として 的,以或的衣题故植成化小石(十名必及がある。

一気に、延出力の毎用数な形事は存成的にする

リコン反と気存板とないードン・メーを用いて灯

付かよび台会部合を行なり担合反配へードントダ

30年以子に囚むるメーンスを見咎るよるこのだし

九日田部放影半時体数位に因する (のてもる)

不発明口半均存以子の両主面に主口品を七几代 **れも圧吸なした森道の半沙弁政点に図し、外に半**

3. 免免の存在な政學

ングスナン組などの支持仮とモフゃじニウィなど

ロハードンルぎーを用いて其空中又は不信性ガス 中などてかつ囚囚氏て位行かよびも会議台により 飲むしたものが用っられている。しゃし、皮配ツ

记仗、***了招展。引出し"仅值(4)之外的9~~? **その状態で形力を加えたままてケース(D)の傾曲に** 点つて来点を取け、ほパキ(6)を凶鬼する。 この固 下にもる砂米金貨船们に加えてせれをかれわる。 **十〇☆/ァ×用や形印のパキガの幼田のドドげ、** 母の存代などの工法を位へ名なてがあつする。

выстомицистиппен гекеппо このようなは近の単語ななな関所によると、単語な 出しは協(4)から用力が加入られた数に保配的来会 1 の発生を妨ぐにとがてきる。また、不免明治の 果以によると、中部は東子にとへース可能の間の この万式へんからくちゅうにていばになれた。其 ボナニとく - スを信仰との間にむ光会は返じが介 E 4 れて 20 圧 保存 4 れるので、 この 数 来会 馬 也 (1) したがして、牛は年末十三の1つの共命内をし引 女道(1)の句ものより半等なスト(1)のもりが経正さ **れることがないので、この半辺な以子(1)を成成ナ** カショコン扱へのストンスがほむひだら、 メラン ロ点記事法弁米子(U.K.として現役社として位く。

代码を設出したくのでもも。

-495-

3 因により気気症炎を示するのちもも。 斑 3 因に

な当古しな鬼にケィび半ちなな十にそかしてその

4. 図面の簡単な説明 サント、依着な形形的タメび般和田林下布、設施 と紋子母との現代を示す存作曲段である。この図 ロ数米金両角(DIC用いる数米アルミュクムの粒子 の国係を示す存在の国であり、実施は最高圧等下 から眠らかなようだ、粉米粒子組を2メロジ下だ てることにより半導体男子(!)とペース互通(!)との 何の気格式シェび避免円降下を低下されること。 **宿をそれぞれ珍し、その仮師は私義氏と粒子臣と**

の数末なれとしてはアルミニウィ以外にニッグル。 アッパークェヤ形でも独合にひとたボしたが、ハ 安・夏・会サ1び七れらの合会などを思いること してもるのえた、本兄明はダイナード以外に半導 **たか、上述した実施的では、粉米金剛加生形成** いる分米なみとして2ヵm以下の位子母を6つた

ジ上以外したようだ、本名のたよる印圧は対形 半導体異数によれば、半導体素子と主電船との間 K2』ョジFの粒子ほを有する粉末金属からなる などにも込用できることだが論である。

な菓子に主電優を心氏路路下る鉄箔のサイリスタ

#5 to 1854 - 9 5 1 83 (3) が手等存ますに対し政権なかっての徴ぎをもじの た、非諸な統十万名なものストンスを減少なおもの 数による熱質的シェジ製造田等下を保護化するこ 米会局衛を介出することによりこの砂米会員権 とができるととした、中等体質子と出角風色の表 とがてきるといり効果がある。

図び送し図に示す手導存成類も辿られた密用式す 1.び 通貨用等 アナ砂米金属産の数子扱たの以供を 第12日大名乗り日田設計がメイオードの用い れた 8 の一致 名名を 5 下 子 次 四 の 一 田 受 田 の 、 第 2 四月第1四天水十年半年末十〇年出於南四、第3 ボナ凶てもる。

(三・・・・半等存ます、(三・・・・ペース制施 (共戦艦)、(3)・・・・ケース、(4)・・・引出 し覧値(王篤隆),(5)・・・・絶母リング,(6)・

M 型 仍 一(女1位) 大路人

・・・目パチ、(1)・・・・容米俄政権の

阿图

图200 第2回

11 3 1£ (741.94)

THIS PAGE BLANK (UBPTO)